あまつぼ

八号

発行所　天坪村公民館
編輯人　西岡武光
印刷所　西村謄写堂

弘報『あまつぼ』の再出発について

教育長兼公民館長　西岡武光

現在「昭和二十八年度」公民館には専従職員はいない。専従館長は兼任であつたのだ、教育長の兼任でもよい（と云つても私関人が適任者であると云う意味ではない。）教育委員会事務局の嘱託が、公民館主事補を兼ねている。これにもられた人件費が、年額三万九千円で、公民館運営費（社会教育費）総額三十三万円に対して一割強の率にはつている。したがつて殆んど九割近く所謂事業費にまわす事が出来るのだからえでうまく運転が出来ればえにこした事はない。ところが存外そうはいかない。委員会の事務局にも事務局としての立場は決して少くはないし中学校を建て上げねばならん等と仕事に追はれて来ると事実手も足も出ない事になる。

此処等が公民館の仕事の引込で来る理由だと思う。逆説すると中学校も運動場は未完成だら落成式も挙げ一段落ちついたので、弘報も出せる様になつたというわけである故て度々出すと云う段になると、暫く事がいくらでもある。ありすつて困る。つまり知つてもらいたい事、知らせねばならん事が山の様に積重なっている。実にその整理に苦しむわけである。と云うのは余りにも借金がかさまつてその支払にどこから手をつけてよいかわからないと同じである。したがつてただの一回や二回の支払で事足れりとは考えていないがだじ能力のある限り仕払意志のある事を了承していただいて来払いの分については大いに猶予をしてもらい度い。もとより当事者としては借る人が能ではないと考えている。早く貸方にはる可く努力いたします。今回は久しく村民の待望の的となつていた天坪中学校の落成を記念する意味ありの記事が多くなる事と思います。

青年高等学院の発足

村には、二箇所に青年高等学院をもつている。一つは久寿軒中学校に、今一つは天坪中学校に併設の形で生まれた。久寿軒は、従来の夜学で区域も久寿軒校下に限られている天坪の方は、村全域（鹿野村西又橋下、大移村小川新改村向田を含む）を対象としたもので規模が大きい。一般教養は、土曜日の重同制で和洋裁は、日曜日に実施している。産みの悩みはさる事ながら新設中学校の魅力もあり相当良いすべり出しで発足した。

扨きつし学不青年自身の自学問題を此処に解決すべき学院である。果して完全解決の域に達しているかというと仲々そうではない。先ず第一に、主体である青年の自主性なり或いは自覚が、之の裏調となつているか。

第二に周囲の議入れ方が物心共に完璧であるかという事である。共に反省三思しなくてはならない重要な事である。第一についてはしばらくおくとして第二について考えたい。

教育機関の操縦操作は、乗を抵つている様なものである。故したら落ちる落ちたらわれる、之即ち自明の理。

かと云つてがいに握るとわれる之亦自ら明らかなり。兎角教育機関は飛んでもらはなくてはならないつかず離れずのかないのよさで周囲の者の関心事が絶対に物云う事の意識度をうんと高め度いと切望してやまない。

中学校と奉仕

この建工事としては、恐らく村月史以来のものであつたと思はれる。さしもの難工事も過ぐる十一月十五日を期として一段落を告げた。

運動場は、未完成だら一応使用に差支えない程度に浮び上つた。此の底力と結つた村民協力奉仕の偉大さを刮目せよ

予定役数二、七二一人役に対して実出役総数二五三二人役

当に九三％の高率を示し得た事を萬感感謝の意を込めて此々に明記する。

尚詳細は次の通りである

尚新改村向田部落九八人役

熊野村西又部落、七九人役

大移村柏谷〃〃、一四人役

の応援奉仕を受けました。

	数	役数	数	役数
戸	42	81.5	踐	2.5
	49	72		26
	66	129		3.1
	106	393		30.5
	67	237.5		17
	43	155		12
	35	128		(+)14.5
	73	379.5		42.1
	94	427.9		19
	54	197		(+)7
	54	223		27.2
	34	108.8		18.6
	717	2532.2		

名簿上の数字

区域　野川　熊谷　内本

落合　一二号　まの　の

部落　北川〃　久馬本　善戸　河原　樋口　八瀬　計

青年団の活躍

（村連副団長　中西晃正）

(1) 青年団節向記

◎ 角氏岩青年団の部

小数の団員で構成されてはいるが自主独自のはりのある物凄い熱意と、何物にも打ち勝たんとする意気とがひそんでいるかの如く伺はれる。男子ばかり十二名の団員で、西岡仁司君を団長に、かつちりとスクラム組んでえとして新法な父兄の協力理解の打開と団の拡大強化に必至となつている。

最近の絶改ではなく結果は古い。何処も同じで、しばらくスランプ状態におち入つていたもの、再生だと考えられる。団今後の運営目標は(1)団員相互間の理解を深めると共に教養を高める事。(2)新団員の自主的加入に依る組織の拡大強化。(3)自力による活動資金の獲得

四月月並的か、さにあらず村青年の実状は、この目標に向つて進めと云いたい。幸にして周囲の絶大なる理解協力を願、大飛躍を望む。

◎ 南部青年団の部

平均年令十九才、若い団員の集いでまだ〜嘴のなんとやらと云いたいところ。

団員は若いが結束は古く強くの者、国見青年団として発足したとの事。其の後村連合体の生れるに至り南部の名を冠せられ、御多分にもれず一進一退のたどくしい足どりで現在に及んでいる。

団長、内田利晴君は、なかなかのハニサムで年令二十三才の最年長者、三十二名の若者を引員しての道行きは並大抵の事ではないらしい。

隣所に既の消えを見せ中学校運動場工事の奉仕、慰霊祭、大川祭、村民運動会と何れもきびくとした出来はえで又明朗である。男女略々同数の理想的配置、全く男女同数で、男子のレデーファスト主義は固守い。

現在毎月一回の役員会をやつているが公民館建設資金の醸成を目標にしつつも、大分獲らぬ狸の皮算用らしい。

余りにも若い者同志のせいであろうか、村政がどうのこうの等とむつかしい事でも云をうものなら必ず皆に嫌はれる。男女十九はまだ純情よ。

今後と云つても、もうおレつまつたが、行事としては二十四日のクリスマスイヴと二十九日からの反省を考えているとの事。

こうした自発的活動が今後の運営面における根幹となる事は無論である。たゞこの団はどうも村の中央に出て来ないうつかりしていると団そのものはいよく強固になつて、村中の蛙化する恐れなしとしない。御一考を近う。

卓球惜しくも優勝を逃す

〔II〕

連合青年団は、去る十一月二十三日、山田高校で行はれた、第三回上長香三郡連合青年団体育大会に参加して二十四ケ町村、四百五十名の若人の中に如ばり大熱戦の上次の成績を得た。

一、卓球

団体戦ではよく頑張り通し優勝戦までこぎつけ、小田チームと対戦のところ、遂にカ斗空しく三対二のスコーアで惜敗したが、個人戦では、杉本晴成君、女子左藤郁子嬢共に優勝の栄冠をかち得た事の気をはいた。

二、ソフトボール

小良チームと対戦、団長杉本秀隆君のはなつた大ホームランも、遂にその甲斐なく敗れ去つた。

村民の皆さんへ!!

年末の盗難予防に就て

天坪村駐在所　刑事　渡

昭和二十八年も愈々何日を残すだけとなり皆さんには去る年を偲しみ又来るべき年に希望をいだかれて毎日々がお忙しい事と存じます。

扨て、毎年の習に成りますと村内を横行する窃盗犯人が急増する事は皆さん御承知の通りであります。これ等の犯罪者より皆さんの財産を守るために次の様な事からを実行して厳いて盗難にかゝらずに希望にみちた新年を迎えられると同時に犯罪者の居らない天坪村を作り上げる事に御協力を御願し度いと思います。

昔は盗人にも三分の利と言はれて居ります。

これは取り様によつて色々と解釈されますが私は被害者が盗人に隙を与えたと云う事であります。(一)被害にかゝる虞のある物品は屋外におかない事最近当村に於いては自転車の盗難が相ついで行はれて居りますが、そのいづれもが屋外に放置せられていたものばかりであります特に自転車は捜査が非常に大ケ骨いのでありますから施錠をしてあるから等と安心は禁物であります又重量物とか非常に大きいものであつても最近自動車による犯行が多くなつて居りますので油断は出来ないのであります。

(二) 戸締は厳重にする事。

私共表家戸締りを調べてみますにその殆んど全部が雨戸に心張棒施錠のある所でも雨窓錠が主であります。雨窓錠は御存知の様に外部から見えるものであり簡単である事を証明してゐる様なものでありまして危険この上もないのであります又戸締はしてあるが施錠をしてあるか中にありなんのためのもの施錠かわからないものもあります。

盗人が侵入しやすい家は

一、カラス戸に安全錠を使用してゐる家

二、裏口の乱雑な家

三、両戸だけの家、四番火にによつている家等でありまして侵入しにくい家は、

一、外が明るくて中の暗い家

二、戸の上下に毒を塗つて直入錠のある家、戸と戸が食い込む様になつているもの

三、防犯ベルのある家

四、老人の居る家、等が挙げられます。

(三)防犯組合の活動による防犯警察が一人やつきになつて防犯運動をしたところで村内一千の組合の方々や各個人の協力なしにはその成果は上がらないのであります民間防犯団体の活動により犯罪を検挙したに事実やこれを未然に防いだ事は数多くあるのであります。

警察といたしまして防犯組合の方々に御願いし度い事は次の様な事であります。特に年末に於いては防犯組合の協力は活動が必要であると思います。

一、駐在所といつも緊密な連絡を保つ事。

二、各個人の防犯意識の向上に努める事。

三、各職域では職場の自衛を行う事。

四、戸締の調査

五、夜警の実施

六、金融機関火災倉庫等の自衛実施

七、年末の甘言による詐欺押売りの予防

読書（図書の係から）

読書の秋と良くいはれますが、お互に秋は収入期で忙はしいので、ほんとに読むのにより時期は、今の校長を利用する事ではないでせうか。

公民館では最近、新書を四十冊程度備えつけました。その上巡回図書も三十冊余り来ています。

えで略々、目下の読書欲を充たしていますので現在の利用状況は、人数で約三十名、一日平均十二冊出出ています。貸出は無論無料で、期限は一週間です。どうぞ皆さんには、冬の校長を公民館の本で楽しく御過し下さい。

教育委員会の新役員

委員会が発足して満一ケ年を経過いたしました。役員の任期満了に伴う新役員は、次の方々です。

委員長　小林林治

副委員長　大和田利晴

天坪村征生 教育委員会発足す

役員

委員長　西岡豊光

副委員長　濱渕旭子

〃　西岡久美子

無智程恐ろしいものはないと云はれる通り無智による災害は枚挙にいとまがなく一瞬にして十三万人の生命を奪い去つた二発の原子爆弾に惜然色を失つた国民が例えて云えば原生爆弾十四発の洗礼と同数の死者を出している疾病に対して平然としている状態を見る時唯唖然とするものである。

こゝに救い難い無智と無関心の死活がよどんでいるのである。

この恐るべき無智と無関心を打破しよどんでいる死活に清水を通はせ救い難い絶望状態を救うべき強かい手こそ征生教育である。

この征生教育を全村民一人一人に体得させ実践し健康を増進さす目的のもとに町村征生教育委員会が結成されたのである。本村に於いては昭和二十八年八月発足したのであるが日まだ浅きため充分な活動を発揮していないのでこれ迄に於いては征生教育の専門的推進機関として村民一人一人の理解を組織的協力のもとに初志の目的を完遂すべく努力致します。

保育園の生まれるまで

二八・一二・一七　岡林住彌

たんぼのはたで田にかまをいれながら母の仕事の終るまでたいくつな時を過し時には泣いてみても仕事に無中の母親はとり合つてもくれずあくびしながら日暮れをまつ幼な子をトラック自転車等若数も多く走る道路でおひえた様に遊ぶ子らを安全な場所に收容しのびくとたのしく遊ぶ事の出来る様にしたい子供の幸福は勿論お母さん方も精神的に時間的に解放されるのではないかと厚生主任の西岡様の御世話によつて先ず手始めとして、委託託児所を開設しました。産が三坪の室に三十六名の児童をつめ込み屋内プランコが二つ三輪車が一つそれに朝倉様からお借りした室内スベリ台が一つで少い遊具を奪い合つての泣き声はあとを絶たなかつた。狭い庭にはすぐ稲田か続きかこいかないのですぐ国道へも出られるし、たんぼに飛びこんだり自動車の通る国道にとび出したり若い二人の保母さんも大変な苦労であつた託児所の設営は随分迷惑を蒙つた事であらうに児童福祉に御理解ある方ばかりで何一つ文句も云われずミケ月は過ぎた子供のお母さん達は託児所のおかげでどれだけ助かるかわからないと云つて、秋の農繁期にも是非にと数名の婦人が見えて懇望せられたが色々の都合上残念ながら秋には託児所ではあつたが、大車の婦人が五名つれだつてはるゝと見学に来られて嬉しいやら恥かしいやらであつた。又開設を祝つて聖山幼稚園の草川様から参考書や色紙絵本等沢山頂いた事は本当に有難く又保育園への援護に色々と御指導御鞭撻して下さつた事はいつまでも忘れ得ない感謝の極みである。

保育園！何でも覚めても聞慣れないのは保育園の事であるる。児童一人に〇反坪の農地と児童三十人に一人の保母とそれから寝具、机、腰掛とブランコ、すべり台等の遊具と最低基準のものか整わないと認可はされないしまみの苦しみはひしくと身心にしみこんできて思案のまゝに数ケ月は過ぎ去つた。

しかし中学生が新設天坪中学校に移るのでそのあとを一部と住宅を借る事にして寝具や遊具は寄附や借り集めでやつと揃え保母さんも迎える事が出来て四月十日いよ〳〵開園の運びとなつた。長岡郎ではたつた一ケ月の認可であつた。

保育園誕生のための厚生主任の御骨折は泪ぐましいものがありお陰様をもつて又村当局村議会民生委員の御理解ある御指導と御協力によつて祝賀会はしなかつたが盛大な開園式の挙行された事は保育園の永久に記念すべき事柄である。

（天坪保育園の歩み）

（以下次号）

予告

(A) 成人式と村行政研究発表会

村執行部は、過去現在に於いて何をし何をしつゝあるか、という事は村民皆しく前もし見もしなくてはなりますまい。又知らせる事、見せる事の責任は当然当事者にはある筈です。

行政の民主化を此々に於いて、来る一月十五日の成人式挙行を機会に、村執行部は其の総力をあげて行政研究発表会をする事となりました。村全体の林野は何時少でも所有する村内外人は其の人数に於いて又面積に於いて如何なる比を為し過去の実動と、何処、何れの部落が最も動くか将来態がつかめない限り森林を盾とする村の現在ははかりますまい。産業の数の過去に於ける推移の状況は果たしてどうなつているか、久喜軒は、第一は、聚落は、国見は。五十年後の数の見当は、今迄である学校の目にとすらない基幹工事である。さては課税の現状、徴税状況等数えあげるときリはない。お互に共にく強く奮の問題を、村の実態を把握して解決に踏み出す足場としたい念願です。

成人となる青年に贈る最大の盾とすべく広く一般の御協力を御願い致します。

尚詳細は後便で。

(B) 第四回農村祭はこうして。

十一月中旬開催の予定でありましたが、新聚天坪中学校の落成式を挙げる等の行事関係でのびくになつています。そこで今回は日正月を見込み七日正月頃開催いたします。構想としては、略、従来通り、農産物林産物、畜産物の品評会を中心として考えていきますので広く村民の皆様方の御協力と、御準備を切に御願い致します。

青年の歩み

（AよりSに）

S君久し振りに君の手紙を……素朴な文章の背後にかくされている君の情熱に押されながら読んだ。

若は自分を軍隊者だと自覚する事によつて青年団運動の失敗を結論付ている様だが成程君が只一人の信頼していた友を失つたと云う事にも大きな原因があると思うが之は決してあの手この手のまちがいのみの失敗ではなく、むしろ君の村の青年、極端に云えば日本農村青年全体の中に根強く残っている何物かそれは私にも判らない）が根本的な問題があると思う。したがつて君がこの点を明確に意識して此の農村青年の中に残る何物かを排除するという事に於いての力不足から反動攻勢の前に敗退しなければならなかつたという事を、自己の責任として、自らを責めているのであるならば僕は君に対して心からの敬意を表したいと思う。

だがもしそうでなく指導的地位に立つが故に失敗はすべて自分の上に帰せられなければならないという古風な考え方から出ているのであれば、その責任の陰に本末的な考え方が目の見えるのではないかと思う。

勿論君の場合はそうではないと思う。だが僕が失礼をもかえり見ず こういう問題の出し方をせずにおられない程農村青年の物の考え方は停滞しているのではないかと思う。勿論実践を通じて農村青年の意識は飛躍的に成長するでもうが何よりも今大事な事は君の村が最も当面している重大なる事柄を、君達の日常の生活の中で、現実の青年団運動の中で理解する事であると思はれる。

さら君、僕は此の頃いつも考えているそれは〃農民は農民である前に人間でなければならぬ〃という事だ。僕は君の村の青年全部にこの言葉の真実の意味を伝へたい。

紙面の都合上全部掲載する事が出来ませんでした。以下は次号に掲載する事にしました。

日時　昭和廿九年一月五日　場所　天坪村小学校

村内各種団体　野球大会

参加資格　天坪村に居住する者で団体にて構成しているもの

参加申込　一月四日までに公民館まで

主催　天坪公民館